

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称 : マゴクリーン NM3  
会社名 : 株式会社アイエス  
住所 : 京都府京都市右京区嵯峨大覚寺門前堂ノ前23-4  
電話番号 : 075-861-3770  
FAX番号 : 075-861-3734

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5  
急性毒性(経皮) : 区分3  
急性毒性(吸入:蒸気) : 区分3  
皮膚腐食性・刺激性 : 区分2  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A  
生殖毒性 : 区分2

#### 環境に対する有害性

水生毒性(急性) : 区分2  
絵表示またはシンボル :



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 飲み込むと有害なおそれ  
皮膚に接触すると有毒  
吸入すると有毒  
皮膚刺激  
重篤な眼への刺激性  
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
水生生物に毒性あり

### 注意書き

#### [安全対策]

保護具(メガネ、ゴム手袋、長靴等)を着用する。  
粉じん、ミスト、蒸気などが発生した場合は吸入しない。  
この製品を使用する時に、飲食及び喫煙をしない。  
取扱い後はよく手を洗う。

#### [救急処置]

目に入った場合 : 直ちに多量の水(流水)で15分以上洗眼(まぶたの隅々まで)し、速やかに眼科医の手当てを受ける。  
皮膚に付着した場合 : 直ちに接触部を多量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴は速やかに脱がせる。速やかに医師の手当てを受ける。  
吸入した場合 : 吸入等により異常を感じたら、直ちに作業を中止し、症状に応じて医師の手当てを受ける。  
飲み込んだ場合 : 口を多量の水ですすぎ、医師の手当てを受ける。意識があっても無理に吐かせてはならない。

#### 「保管」

容器を密閉して換気の良い冷暗所で施錠して保管すること。

#### 「廃棄」

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

(注)物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

### 3. 組織,成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物 (水和物)
化学名	: ブチルセロソルブを含む水溶液
成分及び含有量	: ブチルセロソルブ
危険有害成分	: ブチルセロソルブ
	CAS No:1 1 1 - 7 6 - 2
	化審法 :2 - 4 0 7
	安衛法 :通知対象

### 4. 応急処置

眼に入った場合	: 直ちに多量の水道水 (流水) で15分間以上洗眼 (まぶたの隅々まで) し、速やかに眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに接触部を多量の水で十分に洗い流す。 汚染された衣服や靴は速やかに脱がせる。速やかに医師の手当てを受ける。
吸入した場合	: 吸入等により異常を感じたら、直ちに作業を中止し、症状に応じて医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 口を多量の水ですすぎ、医師の手当てを受ける。意識があっても無理に吐かせてはならない。
予想される急性症状及び遅発性症状	
呼入	: 咳・めまい・嗜眠・頭痛・吐き気・脱力感 症状は遅れて現れることがある。
皮膚	: 皮膚の乾燥。吸収される可能性あり。
眼	: 発赤・痛み・かすみ眼
経口摂取	: 腹痛・下痢・吐き気・嘔吐
医師に対する特別な注意事項	: 安静と症状の医学的な経過観察が不可欠である。

### 5. 火災時の処置

特有の危険有害性	: 火災によっては刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。燃えやすく、熱、火花、火炎で発火する。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
消火方法	: 適切な保護具を着用し、風上より消火作業を行う。火元への燃焼源を遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火剤	: 粉末・二酸化炭素・泡(耐アルコール泡)・水噴霧

### 6. 漏出時の処置

人に対する注意事項	: 作業の際には、保護具 (メガネ、ゴム手袋、長靴等) を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣類に付着しないようにする。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。
除去方法・中和	: 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	: 排水溝・下水溝・地下室あるいは封鎖場所への流入を防ぐ。 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報す

る。周辺の発火源を速やかに取除く。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 保護具を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣類に付着しないように慎重に取り扱う。裸火禁止、火花禁止、禁煙。強力な酸化剤との接触禁止。静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。
- 注意事項 : 漏れや、飛散を防ぐ為に、取り扱いの都度、容器を密閉する。
- 安全取扱い事項 : 粉じん、ミスト、蒸気を吸入しない。  
容器を転倒、落下させる等、衝撃を加える乱暴な取扱いをしない。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗う。

### 保管

- 保管条件 : 直射日光を避け、異物が混入しないよう密封して保管。  
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。酸化剤から離して保管する
- 容器包装材料 : ガラスなどを使用する。

## 8. 暴露防止及び保護処置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 未設定
- 保護具 : ゴーグル型保護眼鏡、不浸透性保護手袋、保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない

## 9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 無色透明液状
- 臭気 : なし
- PH : データなし
- 沸点 : データなし
- 融点 : データなし
- 引火点 : データなし
- 水溶解度 : 可溶

## 10. 安全性及び反応性

- 安全性 : 通常の手扱いにおいては安定である。流動、攪拌などにより、静電気が発生することがある。
- 反応性 : 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。爆発性過酸化物を生成することがある。
- 避けるべき条件 : 日光、熱、高温
- 避けるべき材料 : 強酸化剤、強アルカリとの接触回避

## 11. 有害性情報

(ブチルセロソルブとして)

- 急性毒性 : 飲み込むと有害(区分4)  
皮膚に接触すると有害(区分3)  
吸入すると生命に危険(区分2)  
ラット 経口 LD50= 1 7 4 6 mg/ kg  
ウサギ 経皮 LD50= 9 9 mg/ kg

	ラット 吸入 LD50= 4 5 0 p p m 4 h
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚刺激(区分2) 5試験の結果、4試験において刺激性がみられた。そのうちの1試験では6例中3例で痂皮と浮腫を伴う重度の紅斑がみられている(SIDS(1997))。高濃度の本物質を含む床剥ぎ剤を使用した掃除人が、紅斑と接触性皮膚炎を起こしたとの報告がある(SIDS (1997))
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 強い眼刺激(区分2A) OECD ガイドライン準拠の試験(ECETOC (TR48(2)1988))を含む複数の試験で、ウサギの眼に対し重度の刺激性が認められるが回復性がある(SIDS (1997))との記述
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性 : 区分外 OECD ガイドライン準拠の2回のモルモットでいずれも陰性(SIDS (1997))。ヒトの反復傷害パッチテスト (GLP 準拠)で皮膚感作性はない(SIDS(1997))。
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い(区分2) 妊娠中のラットおよびウサギの主として器官形成期に曝露した試験において、着床数の減少、吸収胚の増加など発生に対する悪影響が認められ、同時に母動物において体重増加抑制、臓器重量の変化、血液パラメータの変化など一般毒性の発現も記述されている ( SIDS (1997))
特定標的臓器・全身毒性:	臓器(中枢神経系、血液、腎臓、肝臓)の障害(区分1) 気道刺激性(区分3) 長期又は反復ばく露による臓器(血液)の障害のおそれ(区分2)
吸引性呼吸器有害性	: データなし

## 1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害	: 水生生物に有害(区分2)
水生環境慢性有害	: 区分外
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
容器	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 1 4. 運送上の注意

運送の特定の安全対策	: 運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う
------------	--

国内規制

- 陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。  
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。  
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
- 

15. 適用法令

- 化学物質管理促進法(P R T R) : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
労働安全衛生法 : 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物  
(ブチルセロソルブ)  
消防法 : 危険物 第4類引火性液体 第三石油類 水溶性  
(指定数量4000L)
- 

16. その他の情報

- 引用文献 : S T Nオンライン情報

ここに記載された情報は、当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

---